

「新たな公民館」に期待する

生涯学習推進会議 委員長 関 要悟



現在は、誰もが自由に学習の機会を選択し、参加することができる生涯学習社会といわれています。公民館は、その中核となる社会教育施設であり、生涯学習支援を行うものです。

魚沼市の誕生以来、「新しい公民館のあり方」が検討されてきました。実践されてきた活動は内容も充実し、成果を上げており、「よみがえる公民館」として注目されています。

中央公民館と各地区公民館とがしつかり連携し、それぞれの機能を生かした活動が繰り広げられています。中央公民館では、人権・福祉・環境・健康問題等々、昨今の社会に深く根を下ろしている課題についての学習が進められ、また、館長・スタッフのリードの下に、運営審議会・サポーター協議会が熱心に支えています。

これからの公民館活動には、さらに広く市民のニーズに応え、より生活に密着した問題に取り組んでいくことが求められています。

また、心豊かな活力ある地域づくり・人づくりを目指して各種の学習活動を展開していくことも大切です。

「新たな公民館」とは、若者の瑞々しい感性と、成人や高齢者の豊かな知識や経験が結びつき、市民自らが学びを深めていく場です。それは、生涯にわたり、自由に学習の機会を選択して学ぶことができる生涯学習の目指す方向でもあります。

地区公民館の活動報告

参加者の 声 声

「ふるさと歴史講座は楽しい」

入広瀬地区

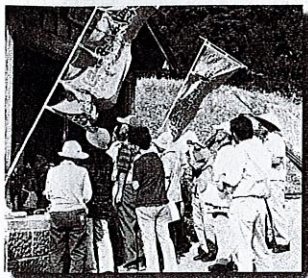
浅井 忠一



友人から紹介された、守門の目黒家を題材とした歴史小説「雪の華」を読んだこと、穴沢の佐藤正一さんの作られた各集落の成り立ちの歴史資料を見せていただいたことが受講のきっかけとなりました。

講師の本山幸一先生による古文書の解説と説明を聞きながら当時にタイムスリップし、自分なりに想像し想いを巡らしております。

特に良かったのは最終講座の現地踏査でした。平野又の十二神社、道祖神、横根の芭蕉の碑「山路きてなにやらゆかしすみれ草」、田小屋の不動滝と田小屋の集会所に保存されている「山論絵図」（山林の領有権争いの図）など今まで知らないで見過ごしていたものが、この講座で宝物を発見した気分です。最後の打ち上げは旧民俗資料館の古民家で、本山先生を囲み美味しいお酒を酌み交わしながらの楽しい講座でした。



「色々な教室に参加して」

入広瀬地区

佐藤 由紀子



定年退職後、前からやりたかったヨガ教室に参加しました。その後、誘われて俳句教室に入り、今年度は手芸と絵手紙にも参加。気づけば四つの教室に参加させてもらいました。

テレビの健康番組を時々見ますが、どの予防運動や治療法もヨガの呼吸法や体の動きに通じているように思います。長年続けている大先輩は姿勢も良く、見習って今後も続けていきたいと思っています。

俳句教室には「どこでも作れるし、お金もかからずボケ防止になる」との言葉にひかれて入りました。その通りで、思いついた時に五七五と指を折っていますが、なかなか良い句がでず四苦八苦しています。

手芸と絵手紙教室は回数が少なかつたけれど、共通の趣味を持つ人達とワイワイ楽しく交流できました。どの教室にも入広瀬以外の方が来られていて仲間の輪が広がっています。興味のある方と一緒に活動しませんか。



芭蕉・子規を目指し

守門地区

酒井 芳夫

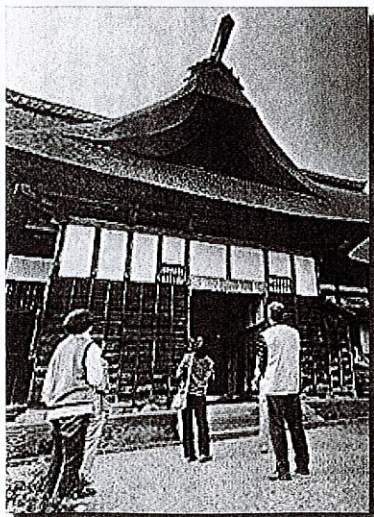


俳句教室では、講師の山之内先生から俳句の基本などを丁寧に教えてもらいました。

小学生の頃作ったことがあるだけで、老後のボケ防止にと思っていた私に比べ、二・三十年のキャリアの方もいて差がありすぎ、気が折れそうになりましたが、誉め上手な指導で何とか講座を修了できました。

初の目黒邸吟行で俳人気分でしたが、まだ名句も駄句も判別つかめません。でも、芭蕉、子規を目指し今後も続けたいと思います。

文化協会に入ってみますと、地元にも大勢の芸術家（書、絵画、工芸、写真、文芸等）がおられる事が分かり、故郷の文化度の高さに誇りを覚える再発見でした。



素晴らしい健康体操教室

守門地区

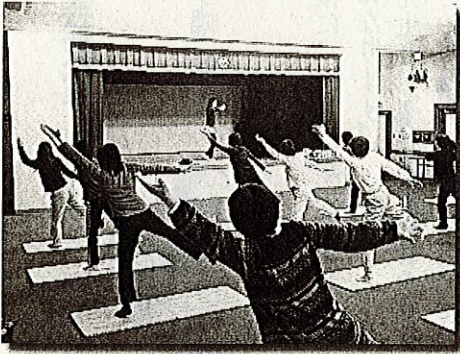
大塚 すみれ



私は友だちに誘われて健康体操教室に参加しました。身体が硬いのを何とかしたい気持ちがあったのですが、リズム感の悪い私はみんなについていけないような気がして余り気乗りがしませんでした。でも、体操が始まって一、二回ですっかりはまったのでした。

講師は地元の佐藤愛子先生で、生徒はと言えばその親位の世代です。しかし、和気藹藹と楽しく身体を動かすことが出来、終わって家へ帰ってくると身体が随分軽く感じたものです。(体重ではなく) 実際に体重が減った人もいたようですが。

本当に心身共にリラックスできる一時間十五分で感謝です。次年度もまた開催していただきたいと思います。



習字教室に参加して

湯之谷地区

永山 諒
岡部 来樹
櫻井 輝太



「春になったら一緒に野球をするんだ、学校では体育が大好き」と声をそろえて話してくれた井口小学校五年生の友達同士。十二月二十三日と二十四日の二日間、合計四時間書き初めの練習をしました。「家の人にすすめられて参加したけど、楽しかった」諒君。「思うように書けたから家では練習しなかった」来樹君。「腕が痛くなるほどいっぱい書いた」輝太君。「中学校の先生が一生懸命教えてくれた」と感謝の気持ちが感じられました。「またいい教室があれば来るよ」明るくかつこい三人でした。



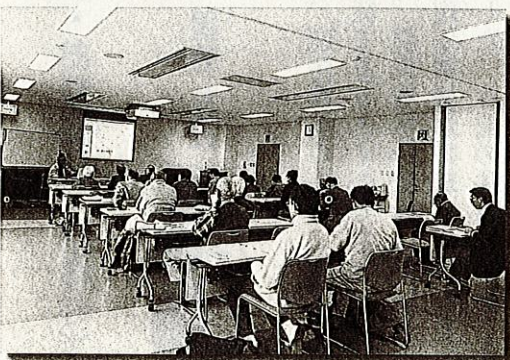
ふるさと再発見講座を受講して

湯之谷地区

米山 堯春



魚沼に残る山城について「魚沼歴史・民俗の会」の清塚正伸さんがプロジェクターを使って、詳しく説明をして下さいました。山城は戦国時代まで使われていたものと思われ、その役割は「砦、見張り台、のろし場など」といった「戦時の防御施設」であったが「生命財産の安全を守るための避難、隠匿」の性格を持つものも有ったそうです。山城跡には尾根伝いに侵入する敵を防ぐため尾根を掘割った空堀があり、山を見ると尾根に堀切が見え一番の目印とのことでした。受講をして山の見方にも興味を持つて見ることが出来るようになりました。公民館の事業には引き続き地域の自然歴史等の講座を願っております。



楽しいぞ陶芸教室

広神地区 小幡 中治



会社の退職を機に、やりたかった陶芸教室へ参加して二年になります。

楽しい講師の先生と、楽しい参加者の皆さんに囲まれて、その日はあっという間に時間が経ってしまいます。

いろいろなものを作っていますが、大きかったり、小さかったり、歪んだり、傾いたりと思うようにいきません。

長年やっておられるベテランの方の手際の良さに感心しながら、不器用な自分なりに時間をかけてゆつくり作っています。

そのうち自分で採ったソバを自分で打ち、自分で作ったソバチョコで、ソバを食べることを楽しみにしています。



「広神かるた」かるたとり大会に参加して

広神地区 水上直子



広神かるたの中に、「まゆ玉を飾って祝う小正月」という札があります。かるたとり大会の前に、もちつきをして、まずは腹ごしらえをし、それから、皆でまゆ玉を作りました。とり札にはまゆ玉の絵が描かれています。実際に見たこともありませんでした。まゆ玉を役員の方に教えてもらいながら、楽しく子ども達と作りました。わらにもちを丸めてつけていき、立派なまゆ玉が完成しました。かるた大会には、我が子三人と一緒に参加しました。親子で時間を共有し、広神の昔ながらの伝統にふれることができ、楽しく参加できました。子どもの部と親子の部とあるので、もっと多くの人に参加していただき、広神の文化・伝統にふれる機会にしてほしいと思いました。また来年も、親子で参加できることを楽しみにしています。



高齢者大学・お寺巡り（永林寺）

堀之内地区 星野友正



十月二十六日、副住職様の法話、お寺見学に私の家も壇信徒でありますので参加させていただきました。副住職様の法話は二回目です。初回の時、副住職様が野球で活躍していることを知りました。今回の法話で感銘した言葉がありました。頭文字「あいうえお」です。「あかるい」「いきいきと」「うれしく」「えがおで」「おもしろい」、いつもの暮らしで肝に銘じたいと思います。

永林寺本堂の内外陣を荘厳する雲蝶の作品群は、力強くかつ繊細。

欄間に刻まれた「小夜出中山蛇身鳥」物語をはじめ「孔雀」「麒麟」「龍」等の浮き彫り、両面彫りの「天女」、「鯉」の浅彫りなど、人物花鳥山水が繚乱として施されています。（永林寺案内抜粋）



「年輪」編集に参加して

堀之内地区

高橋 秀子



今年から年輪編集の作業に、参加させていただいております。三十七年という長い年月発刊に携われてこられた方々に、頭の下がる思いです。今回も百八人もの人達が投稿してくださいました。十人の編集委員で地区別に四班に分かれ、六日間三時間ずつ校正作業をしてきました。この土地に生まれ育った私ですが、解らない方言や古い言葉が沢山あることに驚きました。先輩の人達に教えていただきながら、何とか務めることができました。

もう一つ驚いたことがあります。活字にはない手書きの素晴らしさです。生きてきた道のり、思いがひしひしと伝わり、涙ぐんだり、微笑んだり、文章の中に吸い込まれている自分に、良い経験をさせていたいただいと感謝しております。

皆様の投稿をお待ちしています。



60の手習い!!

伊米ヶ崎地区

富永 時子

ウッドフラワー作りに二回参加させていただきました。講師の滝口さん、大平さん、たくさんの時間を要する細かな材料作りから花の作り方の指導まで、いつもありがとうございます。

お蔭様でなんとかウッドフラワーらしきものになり、本当に楽しい時間でした。又、是非参加させてください。



心癒された南米音楽

伊米ヶ崎地区

森山 芳美

「南米音楽」皆さんは何を思い浮かべますか？音楽に疎い私は、青春時代に聞いたことのある「コンドルは飛んでいく」くらいでした。あの心に沁みるメロディは忘れられないものです。

梅雨のうっとうしい六月の末、南米音楽を聴く機会に恵まれました。音楽には少し敷居の高さを感じてしまう私ですが、今回は地域の公民館で、しかも元ロス・インディオスのメンバーの一人「ごとうりゅうじ」さんのコンサートということで参加させていただきました。軽妙な語りと、素朴な楽器から奏でられるどこか懐かしい南米音楽の数々。親子二人での演奏は、また一味ちがうほのほのとした心地良さを感じさせてくれました。日頃のストレスも忘れて心癒されたひと時になりました。

「会費千円でこんなコンサートはもったいないね。」終わった後の参加者一同の声です。素晴らしい企画に感謝！です。



小出の歴史散歩 「干溝コース」

― 神社・仏閣・石仏探訪 ―

小出地区 那須義定



昨秋、十一月十日快晴の中、まず宝泉寺三十三番観音様を巡った。文化十三年（二八一六）に西国三十三札霊場からお札を頂き建立を計画したが果たせず、明治十七年の開眼という。裏山の多聞天堂を経て秋葉神社までの急勾配の山道であった。居住空間にほど近い絶妙な配置と恵まれた環境からブータンを連想させられた。次いで林泉庵を見学。韋駄天立像、天井絵の雲龍図は圧巻であった。「北魚沼郡志」P 355～356に記された佐梨長者原（佐梨古新田字館の前）の土豪大池大学の戒名が、林泉庵の過去帳に「文明十七年（一四七五）八月十一日 大学信士」と書かれている件について住職に尋ねたが不明であった。

同地は「守門村史」P 461に記された「佐梨城跡」と思われる。佐梨城の典故が明示されておらず残念である。小生も東大資料編纂所、内閣文庫等で調査したが不明である。心あたりの方は御享受願いたい。

まゆ玉細工教室

小出地区

岡田 花林
(小学六年生)

私は友達といっしょに三人で「まゆ玉細工作り」に参加しました。最初に先生から「カイク」のお話がありました。それから「交通安全ひよこストラップ」と「仲よしこよしストラップ」を作りました。まゆ玉をくつつけるところがとれてしまったりで苦戦しました。でも、できあがりはきれいでした。「みんな仲よしこよし」はギザギザに切るのがうまくできなくて少し変になってしまいました。でも、友達が「大丈夫だよ。私も変になったから」と言ってくれたので安心しました。最後に先生に作品を見てもらいました。私と友達は切れはしなどを使って工夫したので「すごい!! よく考えたね!」と言ってくれました。少し恥ずかしかったけど、すごくうれしい気持ちでした。次回また参加したいです。



だんだん
どーも

魚沼市では、地域の独自性を活かした公民館運営に取組んでから、三年が経過しようとしている。しかし、若い独身男女の参加できるような特色ある事業は皆無である。

そんな折、中越地区公民館長等の研修会に於いて、先進的な活動を実践している小千谷市公民館の結婚への支援事業の、事例発表を聴く機会があり興味深く拝聴した。事業の背景には、未婚化・晩婚化の流れを変えたいとの強い思いから、導入を図ったということである。内容等は省略するが、当市でも少子高齢化が顕著であり、結婚しない若者が増加している現状から、何らかの対策が待たれる。

今後、中央公民館を主体に、コミュニティ協議会等との連携を模索しながら、市内の若者が気軽に参加できる教室や出会の場としての交流事業が展開できないか、研究する必要性を感じている。

(佐藤)

長紙の

南魚沼市立大巻中学校の生徒さんが、堀之内公民館のフラネタリウムを利用して、星空の授業を行いました。定期投影だけでなく、広く利用いただいております。開催日等は、毎月広報紙でお知らせいたします。みなさまのお越しをお待ちしております。